

〔派遣〕

派遣研究者 早稲田大学 先端科学健康医療融合研究機構 客員研究助手 村岡 哲郎 1062005

研究集会名 The XVI Congress of the International Society of Electrophysiology and Kinesiology
(The International Society of Electrophysiology and Kinesiology)

出張期間 平成18年6月28日 ～ 7月3日

開催場所 イタリア国 トリノ市

発表論文 同位相の筋活動は、同側手足を逆方向に動かすことを容易にする
(In-phase muscle activation makes it easier to move ipsilateral hand and foot in opposite directions)

概 要

この国際会議は、ヒトを対象とした電気生理学に関する世界的な会議で、国内外で非常に重要視されてる。今回の会議においては、Keynote Lecture5題、一般口頭発表演題156題、一般ポスター発表演題226題の合計387題の演題が発表された。会議における発表内容は、基礎から臨床までの主に身体運動に関する最先端の研究であった。発表者の出身国を見ると、開催国であるイタリアに加え、ブラジル、カナダ、アメリカ、オランダ、日本の発表者が多かった。会議は、同時進行で行われる発表が多くならないように配慮されており、聞きたい発表が同時に行われて困ったということとはなかった。

この中で、標記演題のポスター発表を行った。

多数の研究者と話をする機会を持てたが、中でも、京都大学の森谷教授とは、今後の研究方針なども含めた有意義な議論をすることができた。今回の学会大会参加により、手足協調動作の制御機構について研究をしていく上での今後の指針、有用な方法論を見出すことができ、また、現在行われている最新の研究に触れることができた。今回得られた経験は、手足協調動作の制御機構に関する研究を今後進めていく上で非常に大きな助けになるものと思われる。